ホテルグランヴィア和歌山から出発！
豊臣ゆかりの地
散策 MAP
Toyotomi Heritage Route
東口方面

秀吉の紀州攻め「太田城水攻め」の歴史を辿るコース

“Ota Castle History Course”

JR和歌山駅の東口側は、豊臣秀吉による紀州攻めの際、日本三大水攻めの一つに数えられる激戦が繰り広げられた「太田城」の跡地が点在する歴史ファン必見のエリアです。

太田城水攻めの歴史

天正13年（1585年）、秀吉率いる約10万の大軍に対し、太田左近らわずか5千人が太田城に籠城。攻めあぐねた秀吉は、紀の川の水を堰き止めて城を水没させる「日本三大水攻め」を敢行しました。約1ヶ月の激闘の末、左近は「城内の人々の命を救うこと」を条件に自刃。和歌山の歴史が大きく動いた、決戦の地です。

②【来迎寺（らいこうじ）】

来迎寺は、戦国時代に豊臣秀吉の「紀州攻め」で水攻めを受けた名城・太田城の本丸跡と伝わる寺院です。境内には太田城跡の碑が残り、往時の姿を偲ばせます。

③【小山塚】

秀吉による凄絶な水攻めによって、命を落とした多くの人々を弔うために建てられた供養塔です。歴史の悲哀を今に伝え、訪れる人々に平和の尊さをそっと語りかけています。

④⑤【太田城水攻め堤跡】

紀の川の水を城の周囲に引き込み、水没させた秀吉三大水攻めの一つ。壮絶な歴史を肌でかんじれる貴重な史跡です。
※住宅街の中にあり、少し分かりづらい場所にあります。周辺に立つ案内看板を目印にお進みください。

秀吉の「水攻め」に最後まで屈しなかった男

①【太田左近宗正】

豊臣秀吉の約10万の大軍に立ち向かい、和歌山の自由と仲間を守るために戦った太田城の大将格。秀吉による「水攻め」に対抗し、最後は「自らの命と引き換えに、百姓たちの助命を嘆願した、郷土愛に満ちた悲劇のヒーローです。駅東口の像は、今も和歌山の街を温かく見守っています。

JR 和歌山駅 地下連絡通路太田城の案内看板

※写真は全てイメージです。

ホテルグランヴィア和歌山

HPはこちら　LINE お友達追加　instagram フォロー